

# 2023. April AUSTRALIA

Studying abroad report

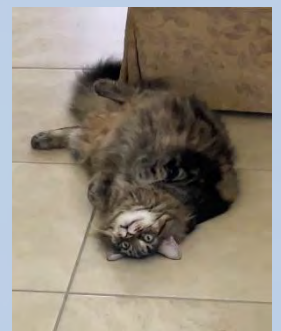
Namiki Hirohama  
4月 月例報告書

Southern cross university in GC



# "Things finally settled down."

「充実」と「ハッピー」の4月であった。ホストファミリーを1カ月に3回変え、何度もつらい思いをした1カ月前と比べれば、今が本当に幸せで不安になるほどだ。新しいホストファミリーのお家についた日、空に二重の虹がかかっていた。ダブルレインボーは新しいスタートを切り、幸運が訪れると言われている。不安9割・ワクワク1割で出会った3度目の正直のホストファミリーは大当たりだった。ジョークと料理が大好きな優しいホストマザーと可愛い猫ちゃんの2人+1匹暮らし。マザーはキャリアウーマンで仕事で日中は家にいない事が多いが、一緒に近くの公園へ散歩に行ったり、夕飯を食べたり、映画を観たり毎日彼女と過ごすのが本当に楽しい。特に、夕食後から寝るまでの冗談を言い合いながらの談笑の時間は私にとって貴重な英会話レッスンだ。



---

## “Daily living”

今、幸せと心から思える一つの要因として食事が充実しているからといえる。バランスの整った食事を調理してくれるホストマザーに感謝している。私はディナーのみのプランを契約しているため、朝・昼は自分で用意するのだが、スーパーやマーケットで買い物をして料理をするのも大変楽しい。複数のスーパーを周ってお得な買い物をするのが最近の趣味になりつつある。物価が高く、もやしで200円・アイスクリームが800円など賢く買い物をする技能を一刻でも早く身につけなければ財布が底をつく。外食は平均2000円かかるため、自炊必須である。キリストの復活を祝うイースターには、チョコレートを食べきれないほど食べた。ホストマザーはチョコレートを好まないため、代わりにお花をプレゼントした。とても喜んでくれたため私も嬉しかった。感謝の気持ちを忘れずに信頼関係を築きたい。





# “Friends made my days in AU”



身長178cmのモデル並みにスタイルの良い中国人の友達  
中国人の友達と中華料理店に行くとザリガニやアヒルの血を固めた鴨血など面白い物を食べられるため楽しい。何でも挑戦してみようと食べたら以外に美味しかったです◎

「多くの人と出会い、交流を重ね友情を築く」私が留学を決めた目的の一つである。人がそこにいたらパツと話せてしまうこの性格のおかげでここにきて様々な人と交流ができた。特に、英語は年齢・国籍・性別関係なく簡単に人と繋がる事を可能にする最高のツールだ。大学の授業は週に一回しか対面授業がないが、休み時間に積極的に話しかけ、中国人の仲良しの友達ができ、他にも、10歳年上の台湾のお姉さんやパイロットが夢で航空学校に通うインドネシアの友達、医者兼ナースをしているコロンビアの友達、大学以外の友達との交流も大切にしている。休日は友達とアイスクリームを片手にビーチに行くことが多い。テーマパークやランチに行くなど毎週リフレッシュに出かけている。

## “How to make friends?”

① 情報収集をして、市や国際交流機関が運営するソーシャルイベントに参加する

(Student hub、International language exchangeなど)

② 日本人と関わらない・日本人のコミュニティに入らない

③ テンション高めに自分から話しかける

以上、三つが海外の友達を作るうえで意識している事だ。不安で日本人と絡みたくなることもあるが、日本人で固まっていたら外国の方とも関わりにくくなる。積極的に交流の場に出向き、誘いは断らずに一緒に遊ぶ。

人生・留学を楽しむための努力は必要である。主体的に楽しみを作る事が大切！



GC最大のウォーターパークWet'n wild  
with台湾・香港・オーストラリア・インドネシア・コロンビアの友達。休日はよく彼らとディナーやビーチに行きます。

International language exchange

Barに50人ほど集まり、席替えをしながら英会話を楽しむイギリス・フランス・韓国・台湾・中国・インド・スペイン・チリ・コロンビアなど多くの方と国際交流ができる



# "My Southern Cross Uni life"

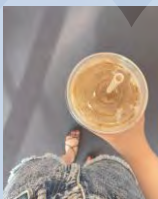
## How was Term 1?

課題やテストに追われる多忙で充実した2か月間だった。Term1では、学部授業で必須となる学術的なエッセイの書き方やコミュニケーションスキル、Academic integrityについて学ぶLanguage and learning in your disciplineを受講した。感想としては、文芸大の学校生活の5倍忙しい。(ガチです)。授業はオンラインも含めて週に4時間しかなかったのだが、Termが終わるまで150時間の自己学習が義務付けられている。まず、予習は大学のマナバのようなサイトに毎週掲載されるunit contentの中のクイズやアクティビティーを行う。最終課題には、1500字のSocial media marketingについてのエッセイを書いたのだがこれが本当に苦痛だった。10時間以上かけたessay planが書き直しになり、提出した物も成績は合格ラインの一番下。全てのタスクが成績に直結するため、なんとかgrowth mindsetに自分を立て直し猛勉強しテストを受けた。テストは、二つともHigh distinctionという高い評価を取る事が出来、最終提出のエッセイもまあまあの成績だった。同じ量・難易度のタスクでもネイティブの学生の10倍時間がかかり苦勞していると思うと焦りと疲れでやるせない気持ちになるが、ならば彼らの10倍勉強をすれば何とかついていけるという事だ。

Term2は2unit受講するため、不安だがポジティブに頑張りたい。



## How am I finding SCU?

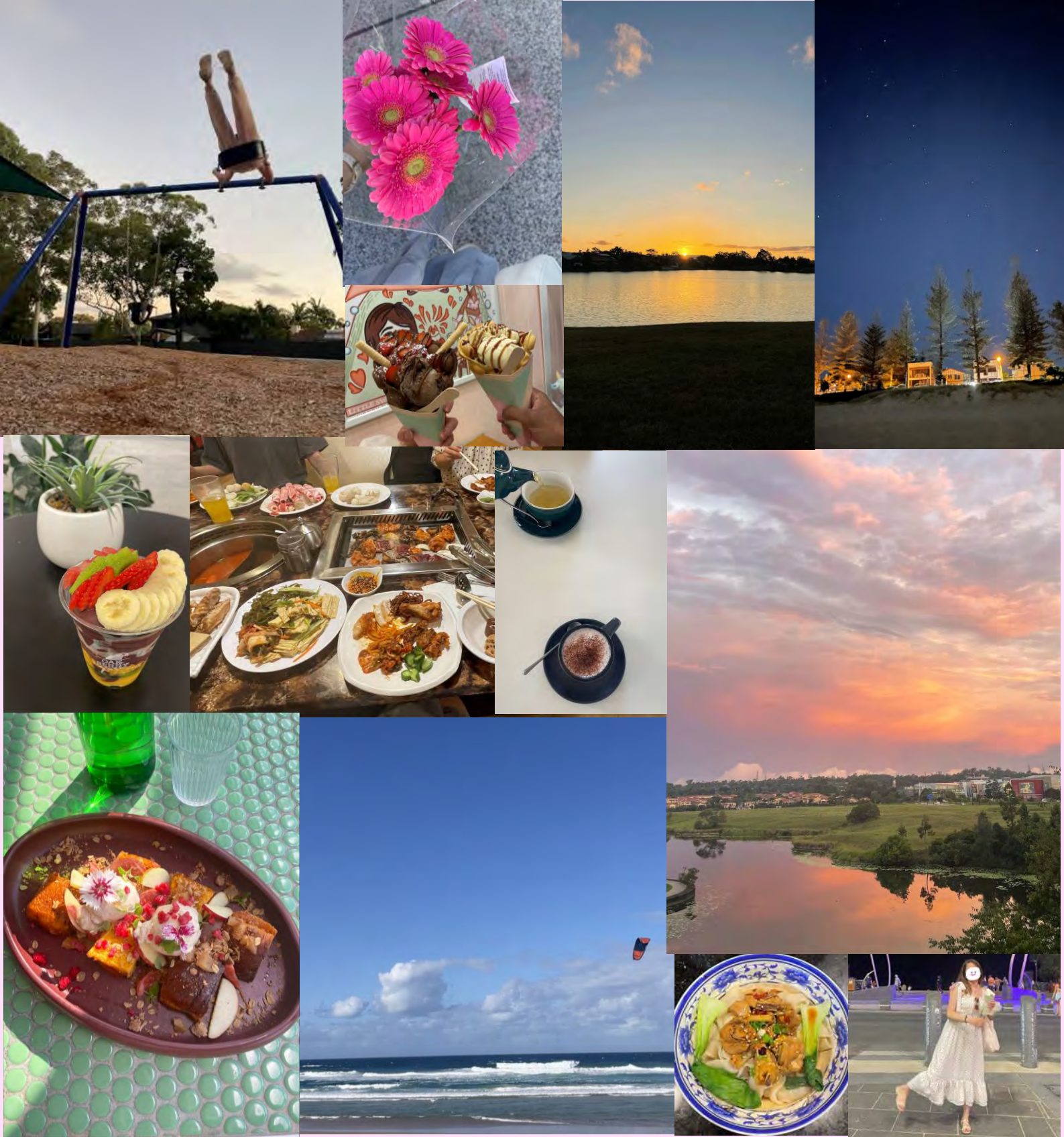


キラキラ海外大学生ライフ~:)♪とまではいかないが、そこそこ楽しんでる。今のステイ先から大学まではバスで1時間以上かかるのだが、ビーチのそばを通るため通学時間も楽しみになっている。お昼はライブミュージックを聞きながらフリーのジェラートやランチを食べ友達と世間話をする。朝早く通学する時は、無料の紅茶やシリアルを食べ勉強をする。最近は、運動不足解消に大学のフリーのヨガ教室に通っている。大学のお気に入りの場所は、図書館！個室の勉強スペース、ソファやリクライニングチェアなど勉強もリフレッシュもできる最高の場所だ。寝ている人もちらほらいる。ビーチが近く窓から綺麗な海が見れるのも最高です♪私はテストやレポート提出日前は朝から夕方まで8時間ほど図書館に籠もっていた。遊びと勉強を両立して、大学生活を楽しめている。サザンクロス大学は留学生が多いため、International students専用のオフィスがあるなど学習サポートも整っており、履修登録やその他手続きなども安心して相談ができる。

Readers appreciate  
ac

Readers appreciate





# Thank you

小さな幸せを大切にしている。トーストのチーズが伸びたから今日一日ハッピー。気持ちの良い天気だから私は幸せ。ブランコを試してみたり、料理をしたり、美味しい物をご褒美に食べたり、一人でカフェやビーチに行ってみたり、毎日楽しく過ごすためには自分から楽しみを探す事が大切だと思う。もちろん辛いこともあります。家族とビデオ電話をした時、名前を呼んでも愛猫の反応が全くなし。忘れられてしまったのかもとその日の夜は涙が出ました。旅行に行った時も愛猫が恋しくなって帰りたくなる私が今はオーストラリアに来て生活していると思うと大人になったなと感じます(笑)ここでの生活も慣れてきたため、来月からはさらに新しい事に挑戦したいです。